

商品販売業務の自動化を目指したオンラインショップシステムの研究開発 経営情報システムへの応用を目指して

伊藤孝夫* 紺田温子** 恋河内敦***

A research on the on-line shop system with sales automation

Takao ITO* Atsuko KONTA** Atsushi KOIKAWACHI***

Abstract : The number of on-line shop has increased rapidly with the diffusion of the network technology. Sales automation is one of the important issues for on-line shops. It is indispensable for the system engineer that on-line shop system must be easy to use for the client, and easy to develop for system engineer with lower cost and easiness of expansion. This paper strengthens a client's goods retrieval function by using the ASP technology under the connection of an http server and the data base technology of ACCESS. Furthermore, this system has the characteristics that an easily understandable purchase procedure is provided in this system with the shopping cart. In the future, the electronic money and the ideal network system will be introduced when some other problems including security are settled.

Key words : IIS sever, ODBC, ASP program、shopping cart

1. はじめに

本研究では、店頭販売のスペースをもつことなく、インターネット上のホームページで商品を紹介し、購入の申し込みを受けて販売する形態のショップのことを、オンラインショップと呼ぶことにする。したがって、オンラインショップシステムは基本的に商品販売システムとデータベース管理システムの2つに分けられる。本研究は商品販売システムを取り上げてクライアントの立場に立ってシステムの構築方法を研究する。(データベース管理システムについては宇部工業高等専門学校研究紀要第50号を参照)

2. 商品販売システムの構成

インターネットの普及による経済社会への影響が今

(2003年12月5日 受理)

* 宇部工業高等専門学校経営情報学科

** 宇部工業高等専門学校経営情報学科5年

*** 宇部工業高等専門学校技術室第二技術班

後急速に拡大することは、疑う余地のないことである。特にビジネスの世界にもたらされる変化はまったく予想がつかないものである。これらの新しい変化は「電子商取引」とか「e ビジネス」と呼ばれている。オンラインショップはその具体的なものの1つである。

「e ビジネス」という言葉の由来は、ウェブなどのインターネット技術を取り込んだ新しいビジネス形態の名称として IBM が 1997 年 10 月に提唱した “e-business” に端を発するといわれる。表記方法の違いはともかく、現在では「e ビジネス」という呼称は一般化している。しかしながら、一般用語として市場で認知された「e ビジネス」の共通の定義は未だ存在していないが、一般的に、e ビジネスとはネットワーク化された技術を利用することにより、モノ、サービス、情報、および知識の伝達と交換を効率的に行うことであるといわれている。この定義は、ネットワーク・テクノロジーを利用していること、モノ、サービス、情報および知識の伝達と交換が行われていることの2つの内容を含んでいる。

ビジネスプロセスは「プロダクト」、「プレーヤー」、「リレーションシップ」に分けられるとすれば、e ビ

ビジネスと従来のビジネスの相違を示すことができる。ここでいう「プロダクト」とは取引の対象となるものであり、各種の製品とサービスを含むものである。「プレーヤー」は取引の売り手、買い手、仲介者、そして情報提供などの間接的なサービスを行う第3者をさす。そして「プレーヤー」と「プロダクト」の間の関連が「リレーションシップ」であり、これには製品やサービスの生産、検索、選択、注文、支払い、配達、消費、マーケティングなどが含まれる。

3つのコンポーネントがすべて物理的に存在するビジネス形態を「非eビジネス」とする。従来のビジネス形態がこれに近い。それとは対照的に、3つのコンポーネントがすべて電子的なものであり、生産だけではなく、配達、支払い、購入などもオンラインで実行される形態を「純粋なeビジネス」とする。現在、「非eビジネス」が「純粋なeビジネス」のどちらかに100%属しているビジネスはほとんど存在せず、「プロダクト」、「プレーヤー」、「リレーションシップ」のいずれかのコンポーネントに、部分的に電子的な要素を取り入れているケースが非常に多い。

オンラインショップは純粋なeビジネスを目指したシステムであるといえよう。オンラインショップはビジネスをオンライン上で拡張し、顧客との関係を飛躍的に改善し、取引パートナー間のビジネスプロセスを合理化し、またそれに費やすコストを大幅に削減することができる。つまり、インダストリやプロセスをより深く洞察し、新しいビジネスのあり方そのものを再考することなのである。

本研究は上述の観点にたつて、ビジネスプロセスを再考しながら、顧客との相互作用を導入して、もっとも合理的なシステム構築を目指している。

2-1 . 商品販売システムの概要

本研究では開発言語にASP(Active Server Pages) HTTPサーバにIIS(Internet Information Server)を利用して構築した。

ASPを使用するためにはIISのインストールが必要であるが、Windows XP等のOSに最初から含まれているため、IISの購入が不要である。したがってシステム構築が容易で、かつ費用を抑えることができる。IISサーバとデータベースとの接続にODBCドライバを使用し、接続するものとする。

本研究における概要図は図1のようになる。

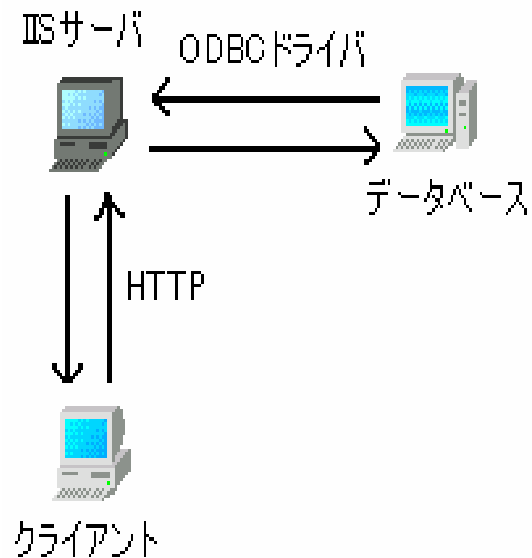


図1 商品販売システム概要図

2-2 . IIS について

IISはMicrosoft社のインターネットサーバソフトウェアであり、HTTP(Hyper Text Transfer Protocol)やFTP(File Transfer Protocol)、SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)、NNTP(Network News Transfer Protocol)など、さまざまなサーバの機能を統合しているものである。同社のOSであるWindows NT Server/Windows 2000/Windows XPに標準でIISは組み込まれている。バージョン4.0以降のIISはトランザクションサービスを提供するMTS(Microsoft Transaction Server)も統合し、ASPやCOM(Component Object Model)を組み合わせて開発されたWebアプリケーションを動作させることができる。2003年11月現在、バージョン6までIISの開発、公表がされている。

2-3 . ASP の特徴

ASPはWebサーバ技術の一種であり、マイクロソフト社が開発したHTTPサーバソフトInternet Information Server Version3.0(表1を参照)以上に含まれるアプリケーション開発環境である。ASPは既存の動的ページを作成する仕組みであるCGI(Common Gateway Interface)をさらに発達させ、Webページを作成する仕組みである。

その特徴は次のようにとりあげられる。

まず、ASPはWebサーバ上でVBScript、JavaScript、PerlScriptに対応できる。これはASPスクリプトエンジンによって、スクリプトコードが解釈および実行されるためである。ASPはプログラムを動作させる仕組みであるから、特定の言語のみ使用できるという構

成をとらず、いくつかの開発言語を使用することができる。

次にHTMLのファイルの中にASPプログラムを埋め込むことができる特徴を持っている。HTMLで記述されたレイアウトにASPプログラムを挿入してプログラムを実行させ、その結果をページに反映させることができる。この機能は開発者にとって、ASPプログラムの一部を修正した後、結果をすぐ確認でき、非常に便利な機能であるが、システムが大規模になるとHTMLとASPプログラムとの境界がわかりにくくなり、保守が複雑となるデメリットがある。

第3にサーバ側で処理が行われるという特徴がある。通常のJavaScriptやVBScriptは、クライアント側のブラウザにより処理が行われる。そのため、クライアント側のコンピュータに負担がかかったり、表示させるブラウザのバージョンによって動作が違ったりするなどの問題があるが、ASPではすべてのプログラム実行処理をサーバ側で行う。そのため、クライアント側は結果を表示させるだけでよく、クライアントコンピュータには負担がかからない。

最後にSessionオブジェクトを利用できるという特徴がある。SessionオブジェクトはASPがサポートしている組み込みオブジェクトの一つであり、特定のユーザセッションに必要な情報を格納するために使うことができる。

一般的に使われるページ間のデータの受け渡し方法として「POST」および「GET」がある。しかし、このデータの受け渡し方法は、データをサイト全体で使用したい場合、ページ間で同じデータを毎回リレーしなければならない、どのページにも同じ内容のプログラムを書く必要があるが、Sessionを利用すると、データだけではなく、文字以外の値やオブジェクトを受け渡すことができる。また、データをセッションオブジェクトにより一括管理することができ、「POST」および「GET」を利用した方法に比べ、ミスを少なく抑えることができる。

Sessionオブジェクトに格納されている値は、ユーザがページ間を移動している間、保持される。セッションをまだ持っていないユーザが初めてアクセスしたときに、セッションは自動的に生成され、セッションがタイムアウトになるか、SessionオブジェクトのAbandonメソッドが実行されるまでそのセッションは有効である。ただし、SessionオブジェクトはCookiesといわれるブラウザの機能を利用するため、Cookiesをサポートしていないブラウザでは、セッションの状態は維持されない。¹

表1はASPのバージョンと対応するOSおよびIISサーバの関係を表したものである。

ASP	対応する OS	IIS サーバ
1.0	Windows NT Server 4.0	Internet Information Server 3.0
	Windows NT Workstation 4.0	Peer Web Services 3.0
	Windows 95	Personal Web Server 1.0
2.0	Windows NT Server 4.0 ¥ (Option Pack ¥)	Internet Information Server 4.0
	Windows NT Workstation 4.0 ¥ (Option Pack ¥)	Personal Web Server 4.0
	Windows 95 ¥ (Option Pack ¥)	Personal Web Server 4.0
	Windows 98	Personal Web Server 4.0
	Windows Me ¥ (Option Pack ¥)	Personal Web Server 4.0
3.0	Windows 2000	Internet Information Services 5.0

表1 ASPのバージョンとOSおよびIISサーバ対応表

3. データベースについて

データベースとは、データ(data)基地(base)の造語であり、データを格納するためのシステムである。データの集まりを表の形で表現するリレーショナルデータベース(RDB)が主流で、Microsoft AccessやOracleなどの製品がある。また、DBMS(Database

Management System)により、共有データとしてのデータベースを管理し、ユーザからのアクセス要求に応える。データベースにアクセスするための言語として、SQLが使われている。SQLはIBM社が開発したデータベース操作作用言語で、関係代数にもとづく2次元の表の集合としてデータを取り扱うことができるため、リレーショナルデータベースの利点を十分に引き

出し、柔軟性と拡張性を活用することができる。

データベースアプリケーション以外のソフトウェアからデータベースへアクセスするためには ODBC (Open DataBase Connectivity) を利用する必要がある。

3-1 . ODBC について

Microsoft が提唱する WOSA (Microsoft Windows Open Services Architecture) の 1 つで、異なるシステム間の違いを隠蔽し、データベースをアクセスするための単一のシステムレベルにおけるインターフェイスを実現しようとするものである。Apple や DEC、Hewlett-Packard などによってサポートされている。ODBC では ODBC ドライバを利用して、OS や DBMS(DataBase Management System)、ネットワークの違いなどを吸収する。ODBC が規定する API(Application Program Interface)にしたがってアプリケーションを作成すれば、サーバーの DBMS がどのような形態かを意識することなく、データベースへのアクセスが行なえるⁱⁱ⁾。

3-2 . テーブルの構成

オンラインショップシステムの構築にあたり、ACCESS データベースソフトを使用した。使用したテーブルの構成を以下のように示すことができる。

顧客ID	テキスト型	顧客を識別するための唯一無二の番号
顧客名	テキスト型	顧客名
フリガナ	テキスト型	顧客名のフリガナ
郵便番号	テキスト型	顧客の郵便番号
住所	テキスト型	顧客の住所
ビル・マンション名	テキスト型	ビル・マンションなどに住んでいる人のみ入力
電話番号	テキスト型	顧客の電話番号
携帯番号	テキスト型	顧客の携帯番号(必須記入ではない)
誕生日	日付/時刻型	顧客の誕生日
性別	テキスト型	顧客の性別
メールアドレス	テキスト型	顧客のEメールアドレス
パスワード	テキスト型	ログイン時のパスワード
削除	Yes / No 型	顧客が会員かどうか区別するため

表2 顧客マスター

商品ID	テキスト型	商品を識別するための唯一無二の番号
商品名	テキスト型	商品名
商品フリガナ	テキスト型	商品のフリガナ
単価	通貨型	単価
仕入単価	通貨型	仕入れるときの単価
調達期間	テキスト型	発注してから商品が届くまでの時間
商品区分ID	テキスト型	商品区分を識別するための唯一無二の番号
著者	テキスト型	著者を識別するための唯一無二の番号
企業ID	テキスト型	仕入先企業を識別するための唯一無二の番号
商品概要	テキスト型	商品の概要
削除	Yes / No 型	商品が実際にあるかどうか区別するため

表3 商品マスター

著者ID	テキスト型	著者を識別するための唯一無二の番号
著者名	テキスト型	著者名

表4 著者テーブル

商品区分ID	テキスト型	商品区分を識別するための唯一無二の番号
商品区分名	テキスト型	商品区分を表す名称

表5 区分テーブル

輸送ID	数値型	発送地域を識別するための唯一無二の番号
地域名	テキスト型	

表6 発送テーブル

発送方法ID	数値型	発送方法を識別するための唯一無二の番号
発送方法	テキスト型	

表7 発送方法テーブル

企業ID	テキスト型	仕入先企業を識別するための唯一無二の番号
企業名	テキスト型	
フリガナ	テキスト型	
担当者	テキスト型	

企業郵便番号	テキスト型	
企業住所	テキスト型	
企業電話番号	テキスト型	
企業メールアドレス	テキスト型	
企業 URL	テキスト型	

表8 仕入先テーブル

受注伝票 ID	数値型	伝票を識別するための唯一無二の番号
顧客 ID	テキスト型	この伝票の対象となる顧客を示す顧客番号
受注日	日付 / 時刻型	
仕入先企業 ID	テキスト型	
発送方法 ID	数値型	
運送 ID	数値型	
小計	通貨型	この伝票の注文の金額 (税抜)
消費税	通貨型	消費税
合計	通貨型	小計 + 消費税
削除	Yes / No 型	出荷したかどうか区別するため

表9 受注伝票テーブル

明細 ID	数値型	明細を識別するための唯一無二の番号
商品区分 ID	テキスト型	
商品 ID	テキスト型	この明細の対象となる商品の番号
数量	数値型	注文された商品の数量
単価	通貨型	商品の単価
出荷予定日	日付 / 時刻型	
受注伝票 ID	数値型	

表10 受注明細テーブル

発注伝票 ID	数値型	伝票を識別するための唯一無二の番号
発注日	日付 / 時刻型	伝票の起票日
仕入先企業 ID	テキスト型	
発送方法 ID	数値型	
運送 ID	数値型	
小計	通貨型	この伝票の注文の金

		額 (税抜)
消費税	通貨型	消費税
合計	通貨型	小計 + 消費税
削除	Yes / No 型	入荷されたか区別する

表11 発注伝票テーブル

明細 ID	テキスト型	明細を識別するための唯一無二の番号
商品区分 ID	テキスト型	
商品 ID	テキスト型	この明細の対象となる商品の番号
数量	数値型	注文する商品の数量
単価	通貨型	商品の単価
入荷予定日	日付 / 時刻型	
発注伝票 ID	数値型	

表12 発注明細テーブル

商品 ID	テキスト型	商品を識別するための唯一無二の番号
実在庫数	テキスト型	現在の在庫数
発注コスト	通貨型	
年間期待需要量	テキスト型	
品切れコスト	通貨型	
在庫維持コスト	通貨型	
調達期間の需要量	テキスト型	
発注点	数値型	
発注数	数値型	
予約数	数値型	注文が入っている商品の数量
予約発注数	数値型	発注している商品数量

表13 OR 在庫テーブル

商品 ID	テキスト型	商品を識別するための唯一無二の番号
売上日	日付 / 時刻型	
売上数	数値型	
売上金額	通貨型	

表14 売上テーブル

SessionID	数値型	セッションを識別するための唯一無二の番号
商品 ID	テキスト型	商品を識別するための唯一無二の番号
Amount	数値型	

表 15 ShoppingCart テーブル

4. 商品販売システム

商品販売システムでは、顧客が商品を探しやすく、かつ購入が容易に行えるように、処理を複数のページに分け、対話方式により購入できるようにした。

顧客の立場に立ち、商品検索、買い物カゴ、顧客登録、受注作業の角度から商品販売システムを次のように設計した。

4.1. トップ画面

図 2 に示した画面がトップ画面である。「商品検索画面」「ログイン画面」「メンバー登録」「顧客情報変更」ページへのリンクがはられている。

ここでユーザに対してセッション ID が自動的につけられる。本稿の 2-3.ASP の特徴で述べたように、セッションは状態を維持しない HTTP においてユーザ側に ID を記録させ、サーバはこの ID を利用し、ユーザを認証する仕組みである。セッションを利用すると複数のページにおいても、値を保持することができる。



図 2 トップ画面

4.2. 商品検索機能

「商品検索画面へ」をクリックすると、図 3 のように商品区分を選択する画面が表示される。選択した商品区分が「本・雑誌・コミック」であれば、図 4 のように[著者名][企業名]の 2 種類から検索できる画面が表示される。その他の商品区分を選択すると、図 5 のように[企業名]から検索できる画面が表示される。検索条件を選択し、「検索」ボタンをクリックすると、図 6 のように検索結果が表示される。



図 3 商品区分検索画面



図 4 商品検索画面 (本・雑誌・コミックを選択した場合)



図 5 商品検索画面 (本・雑誌・コミック以外を選択した場合)



図6 検索結果表示画面

4-3 . 買い物カゴ機能

顧客が複数の商品を購入する場合、買い物カゴは商品名や個数をデータベースへ一時的に記録しておくものである。

買い物カゴページでは次のような機能を設計した。

まず、購入する商品の個数を変更できる機能である。個数を入力するテキストボックスに文字や負の数を入力したときは、変更する前の個数がテキストボックスに入るように設計した。

次は買い物カゴに入れた商品の削除機能である。この場合の削除は直接削除ボタンを操作することと、商品個数の欄に「0」を入力する方法の2通りがある。個数を入力するテキストボックスに「0」を入力したときは、購入意思がないとみなすので、「削除」ボタンを押したときと同じような処理を行う。

第3は商品個数のカウント機能である。商品購入ページで同じ商品を購入したときは、商品購入個数を1つ増やすとみなす。

注文する商品が決定したら、ログインしていない人はログイン画面へ、ログインしている人は顧客情報の確認画面へジャンプする。



図7 買い物カゴ画面

4-4 . 顧客登録確認機能

注文をする個人を特定するために顧客登録を確認する必要がある。ここで顧客登録の確認をするのはこのシステムを利用するユーザがかならずログインしてから利用するシステムにすると、初めてこのシステムを利用する顧客に初期登録を強要することになり、煩雑さからシステムを利用されなくなる恐れがあるためである。

すでに顧客登録をしている人は、図8のログイン画面から顧客番号とパスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックする。認証が正常に終了した場合は確認画面へと進む。認証が失敗した場合は、エラーが表示され、認証作業がもう一度要求される。未登録の顧客は「初めてのの方はこちらから」ボタンをクリックして図9の顧客登録画面へとジャンプすると、顧客登録することができる。

なお、図2のトップ画面からあらかじめログインしていた場合はログインページを表示しない。

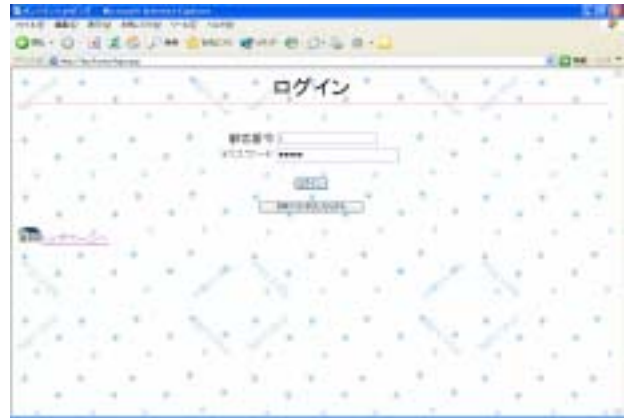


図8 ログイン画面



図9 顧客情報登録画面

顧客認証機能で顧客番号とパスワードが一致しているかを確認し、一致していたら顧客情報をデータベースから取り出し、図 10 のように表示される。



図 10 顧客情報確認画面

4.5 . 顧客情報変更機能

顧客の住所やパスワードなどが変更となった場合、顧客情報が変更できるように、図 11 のように顧客情報更新画面を設計した。顧客情報を設計するには、顧客番号とパスワードを入力して、データベースの情報と一致するか確認する必要がある。データベースの情報と一致すると、顧客情報変更画面が図 12 のように表示される。

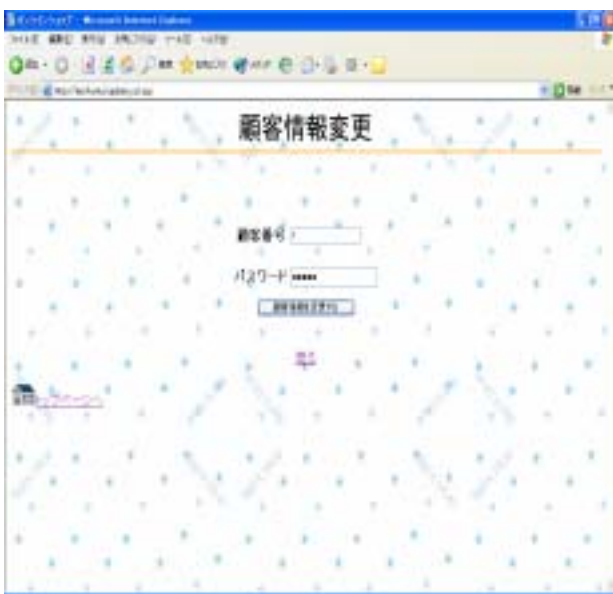


図 11 顧客番号とパスワードの入力画面

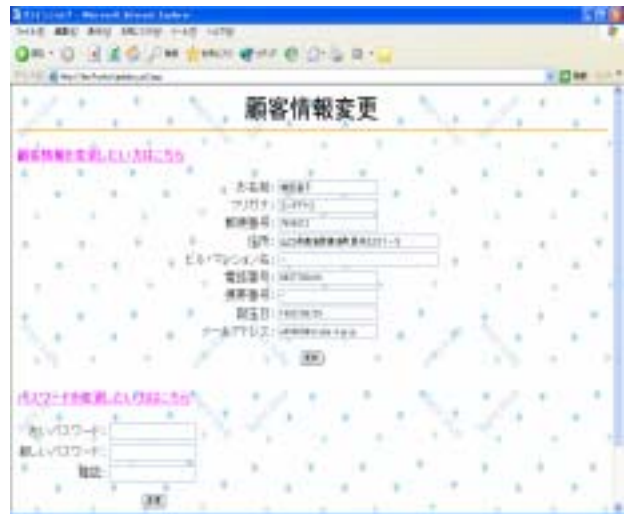


図 12 顧客情報更新画面

4.5 . 注文確認機能

図 13 は注文の最終確認画面である。

顧客情報、購入商品に間違いがなければ「注文」ボタンをクリックし、間違いがある場合やまだ購入したい場合は「ショッピングを続ける」ボタンをクリックするとよい。なお、数量等の変更は買い物カゴページで変更することができる。

「注文」ボタンをクリックすると、顧客情報や購入情報をデータベースに格納するファイルを実行する。この処理は他のデータとの整合性に直接影響があるため、トランザクション処理を利用した。

トランザクションを処理する機能は ASP に含まれているわけではなく MTS(Microsoft Transaction Server)がトランザクション処理を受け持っている。ASP でトランザクション処理を利用する場合は MTS が必要となるが、IIS 4.0 以上では ASP と MTS は統合され、利用されている。



図 13 注文最終確認画面

4.6. 受注終了

データベースにデータ格納し、すべての処理が終わった時点で受注終了画面が表示される^{vi}。その後、トップページへ戻ることができるが、セッションはすべて消去され、初めてページを訪れた時と同様の状態となる。



図 14 受注終了画面

4.8. ログアウト

トップ画面へ戻る時は一連のセッションを削除するように設計した。

5. むすび

これからの日本企業は、ネットワークで結ばれたグローバルな市場において、スピードはもとより、模倣されても負けないだけのコアコンピテンスをバリューチェーンの中でいち早く築くことが最大の鍵となる。事業環境および競合状況は刻一刻と変化し、戦略そのものが急速に陳腐化するというリスクがあるため、企業戦略の策定と実行のスピードが非常に重要となる。また、自社はコアスキルだけを抱え、それ以外はアウトソーシング、e ビジネスのシステムやプロセスの中で互いに連携する仕組みを築くことも必須となる。したがって、信頼関係に基づくビジネスプロセスの連携が必要になるため、企業間のアライアンスやネットワークはますます重要となってくる。今回の「商品販売業務の自動化を目指したオンラインショッピングシステムの構築」では、受注伝票レス化とトランザクション処理を利用することにより信頼性の高い受注作業の自動化を実現することに成功した。商品、顧客のキーワード検索機能の充実、セキュリティ機能の強化などが考えられるので、今後の課題として引き続き研究する必要がある。

謝辞: 今回の研究は伊藤研究室の4期生幸山孝明の「オンラインショッピング構築の研究」、6期生吉倉聖子の「バーチャルモールシステムの研究開発」、7期生坪井志津と藤岡香織の「オンラインショッピングシステムの構築について」を参考して作成したものである。

【参考文献】

- [1] 生形洋一:『ASP 実践プログラミング入門』株式会社 技術評論社(1999)
- [2] 西沢直木:『ASP ポケットリファレンス』株式会社 技術評論社(2001)
- [3] 安井健治郎:『データ共有のための ASP プログラミング』株式会社 ディー・アート(2001)
- [4] 山田祥寛:『ASP ハンドブック』ソフトバンク パブリッシング(2001)
- [5] 『IT 用語辞典 e-words』(<http://e-words.jp>)

注釈

ⁱ Cookies をサポートしないブラウザには Lynx がある。

ⁱⁱ ASP から ODBC へアクセスするには次のような構文を使う

```
<script language="VBScript" >↓
<↓
Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")+
conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン↓
</script>↓
↑
```

上の構文では「Server.createobject」で ADODB に接続するためのオブジェクトをつくり、「Open」メソッドによりデータベース名を指定し接続する。

ⁱⁱⁱ ここでいうユーザとはシステムを利用する場合の顧客を意味する。

^{iv} 買い物カゴのページで、注文ボタンがクリックされた時、「売上テーブル」にデータが格納される。

商品ID	売上日	売上数	売上金額
6001	2003/11/23	2	¥1,000
6002	2003/11/23	0	¥0

^v トランザクション処理とは関連する複数の処理を一つの処理単位としてまとめたもので、金融機関のコンピュータシステムにおける入出金処理のように、一連の作業を全体として一つの処理として管理し、データの不整合を防ぐ役割がある。

トランザクション処理をさせたいファイルの先頭で

<%@TRANSACTION=Required %>と記述するとそのファイルは全体で 1 つのトランザクションとなる。トランザクション内ですべての命令が成功すると OnTransactionCommit が呼び出され、トランザクション内の処理を有効にする。また、トランザクション内の命令がエラーになった場合や、スクリプトが自動的にトランザクションの失敗命令を発行すると OnTransactionAbort が呼び出され、トランザクション内の処理を実行前に戻し、終了させる。

vi ご注文の最終確認画面で注文ボタンをクリックすると、受注伝票テーブルと受注明細テーブルに情報が格納される。

注文伝票ID	商品ID	注文日	注文数量	注文単価	注文金額	合計
1	2003/11/22/1	1	1	4000	4000	4000
2	2003/11/22/2	1	1	4000	4000	4000
3	2003/11/22/3	1	1	4000	4000	4000
4	2003/11/22/4	1	1	4000	4000	4000
5	2003/11/22/5	1	1	4000	4000	4000

付 録 (プログラミングリスト)

【商品区分検索 (search.asp)】

```
<%@ language="VBScript" %>
<%
    Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
    conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
    Set Session("konta.mdb_conn") = conn
    Session("商品区分 ID") = ""
%>
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>オンラインショップ</TITLE>
</HEAD>
<BODY background="back.jpg">
<CENTER>
<FONT face="HGP 創英角ポップ体" size=6 color=black>商品区分検索
</FONT>
<HR color="skyblue">
検索したい商品区分を選んでください
</CENTER>
<FORM action="search2.asp" method="POST">
<TABLE border=2 align=center>
<TR><TH align=center>商品区分</TH>
<TD><SELECT name="商品区分 ID">
<OPTION value="0">すべて検索
<%
    区分テーブルから商品区分名を取り出す
    SQL="SELECT 商品区分 ID,商品区分名 FROM 区分テーブル
ORDER BY 商品区分 ID"
    Set rs = conn.Execute(SQL,,"adcmtext")
    rs.movefirst
    Do until(rs.EOF)
%>
<OPTION value="<%= rs("商品区分 ID") %>"><%= rs("商品区分名") %>
<%
rs.movenext
```

```
Loop
%>
</SELECT>
</TD></TR>
<TR align=center><TD colspan=2>
<INPUT type="submit" value="検索">
</TD></TR>
</TABLE>
<CENTER><P><BR>
<FONT color="red" size="4">
商品区分を選んだ方は<INPUT type="submit" value="検索">を押して
ください。
</FONT></FORM>
<P><BR><P>
<← テーブルの開始 →>
<TABLE cellpadding="1" cellspacing="2" bgcolor="#7ca0c0"
width="400">
<TR><TD height="3"></TD></TR>
<TR><TD bgcolor="#a3bcd3" height="3"><FONT color="white" size
="4"><B>* ご注文方法 *-</B></FONT></TD></TR>
<TR><TD bgcolor="#c2d3e2" height="3"></TD></TR>
<TR><TD bgcolor="#ffffff" align="left">
購入したい商品をショッピングカートに入れていく方式です。
カートに商品を入れた状態でレジに行くと、消費税、送料などを加えた合
計金額が計算され、商品を注文することができます。
レジで注文するには作成したユーザアカウントでログインすることが必
要となります。<BR><BR>
<FONT color="red" size="4"><B> ご注意 </B></FONT><BR>
商品をショッピングカートに入れた時点では注文は完了しておりません。
もしレジに商品を持って行く前に、他の方が同じ商品を注文し在庫がなくな
った場合、その商品は購入することができませんので、あらかじめご了承
ください。<BR>
</TD></TR>
</TABLE>
<← テーブルの終了 →>
</CENTER>
<A HREF="top2.asp"><IMG src="contry02.gif" border="0">トップ
ページへ</A>
</BODY>
</HTML>
<%
rs.Close
Set rs = Nothing
conn.Close
Set conn = Nothing
%>
```

【商品検索画面 (search2.asp)】

```
<%@ language="VBScript" %>
<%
    Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
    conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
    Set Session("konta.mdb_conn") = conn

    Session("商品区分 ID") = Request.Form("商品区分 ID")
%>
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>オンラインショップ</TITLE>
</HEAD>
<BODY background="back.jpg">
<CENTER>
<FONT face="HGP 創英角ポップ体" size=6 color=black>商品検索
</FONT>
<P></CENTER>
<A HREF="search.asp">前のページへ戻る</A>
<HR color="skyblue">
```

```

<FORM action="list.asp" method="POST">
<TABLE border=2 align=center>
<%
  If Session("商品区分 ID") = "0" Then
    商品マスターからすべてを取り出す
    SQL="SELECT * FROM 商品マスター ORDER BY 企業
ID ASC"
    Set rs = conn.Execute(SQL,,adcmdtext)
  %>
  <TR><TH align = "center">著者名</TH>
  <TD><SELECT name = "著者 ID">
  <OPTION value="0">すべて検索
  <%
    著者テーブルから著者名を取り出す
    SQL2="SELECT * FROM 著者テーブル ORDER BY 著者名
ASC"
    Set rs2= conn.Execute(SQL2,,adcmdtext)
    rs2.movefirst

    Do until(rs2.EOF)
  %>
    <OPTION value = "<%= rs2("著者 ID") %>"><%= rs2("著
者名") %>
  <%
    rs2.movenext
  Loop
  %>
  </SELECT> <FONT size = "1">本を購入しない方は「すべて
検索」を選んでください。 </FONT></TD></TR>
  <%
  ElseIf Session("商品区分 ID") = "09" Then
  %>
  <TR><TH align = "center">著者名</TH>
  <TD><SELECT name = "著者 ID">
  <OPTION value="0">すべて検索
  <%
    著者テーブルから著者名を取り出す
    SQL2="SELECT * FROM 著者テーブル ORDER BY 著者名
ASC"
    Set rs= conn.Execute(SQL2,,adcmdtext)
    rs.movefirst

    Do until(rs.EOF)
  %>
    <OPTION value = "<%= rs("著者 ID") %>"><%= rs("著者
名") %>
  <%
    rs.movenext
  Loop
  %>
  </SELECT></TD></TR>
  <%
  商品マスターから商品名を取り出す
  SQL="SELECT * FROM 商品マスター WHERE 商品区分
ID = '09'"
  Set rs = conn.Execute(SQL,,adcmdtext)

  Else
    商品マスターから商品名を取り出す
    SQL="SELECT * FROM 商品マスター WHERE 商品区分
ID = " & Session("商品区分 ID") & ""
    Set rs = conn.Execute(SQL,,adcmdtext)
  End If
  %>
  <%
  If rs.EOF Then

```

```

%>
  <TR><TD>選択された商品区分の商品は現在登録されておりま
せん。 </TD></TR>
  <TR><TD align = "center"><A HREF = "search.asp">商品区
分を選択しなおしてください。 </A></TD></TR>
  <%
  Else
  %>
  <TR><TH align = "center">企業名</TH>
  <TD><SELECT name = "企業 ID">
  <OPTION value="0">すべて検索
  <%
  If Session("商品区分 ID") = "09" Then
    商品マスターから企業 ID を取り出す
    SQL4="SELECT 企業ID FROM 商品マスター WHERE
商品区分 ID='09'"
    Set rs4 = conn.Execute(SQL4)

    Do until(rs4.EOF)
      仕入先テーブルから企業名を取り出す
      SQL3="SELECT 企業名,企業 I D FROM 仕入先テ
ーブル WHERE 企業 I D=" & rs4("企業 ID") & ""
      Set rs= conn.Execute(SQL3,,adcmdtext)
    %>
      <OPTION value = "<%= rs("企業 I D") %>"><%= rs("
企業名") %>
    <%
      rs4.Movenext
    Loop
    rs4.Close
    Set rs4 = Nothing
  Else
    仕入先テーブルから企業名を取り出す
    SQL3="SELECT 企業名,企業 I D FROM 仕入先テー
ブル ORDER BY 企業名 ASC"
    Set rs= conn.Execute(SQL3,,adcmdtext)

    Do until(rs.EOF)
  %>
      <OPTION value = "<%= rs("企業 I D") %>"><%= rs("
企業名") %>
    <%
      rs.movenext
    Loop
  End If

  rs.movefirst
  %>
  </SELECT></TD></TR>
  <TR align=center>
  <TD colspan=2><FONT color = "red" size = "4">
  検索条件を選んだ方は<INPUT type="submit" value="検索">
を押してください。 </FONT></TD></TR></TR></TD></TR>
  <%
  End IF
  %>
</TABLE>
<P><BR></FORM>
<P><BR><P>
<A HREF = "top2.asp"><IMG src="contry02.gif" border = "0">トップ
ページへ</A>
</BODY>
</HTML>
<%
  rs.Close
  Set rs = Nothing
  conn.Close

```

```

Set conn = Nothing
%>

【買い物カゴ表示画面 (ShoppingCart.asp)】
<%@ language="VBScript"%>
<%
    Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
    conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
    Set Session("konta.mdb_conn") = conn
%>
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>オンラインショップ</TITLE>
</HEAD>
<BODY background="back.jpg">
<CENTER>
<FONT size = 6 color = 'black'>買い物カゴ</FONT>
<HR color = 'yellow'>
</CENTER>

<%
    SQL = "SELECT SessionID FROM ShoppingCart テーブル
WHERE SessionID = " & Session.SessionID
    Set rs6 = conn.Execute(SQL)

    If rs6.EOF = true Then '買い物カゴの中身がない時の処理
        Response.Write "商品を選択していません。"
    %>
<FORM action = "logout2.asp" method = "POST">
<INPUT type = "submit" value = "ショッピングする">
</FORM>
<%
    Else '買い物カゴの中身がある時の処理
%>
<BR>注文状況は次のようになっています。<BR>
<TABLE border = 4 width = 100%>
<TR bgcolor = "ffff99">
<TH>商品名</TH><TH>著者名</TH><TH>販売元</TH>
<TH>単価</TH><TH>数量</TH><TH>金額</TH>
<TH>更新</TH><TH>取り消し</TH>
<%
    SQL = "SELECT * FROM ShoppingCart テーブル WHERE
SessionID = " & Session.SessionID
    Set rs7 = conn.Execute(SQL)

    total = 0 '小計を計算するための変数

    Do while rs7.EOF = FALSE
        '商品名、仕入先企業名、著者 ID を取得
        SQL2 = "SELECT * FROM 商品マスター WHERE 商品
ID=" & rs7("商品 ID") & ""
        Set rs2 = conn.Execute(SQL2)
        '著者名を取得
        SQL3 = "SELECT 著者名 FROM 著者テーブル WHERE 著
者 ID=" & rs2("著者") & ""
        Set rs3 = conn.Execute(SQL3)
        '仕入先企業名を取得
        SQL4 = "SELECT 企業名 FROM 仕入先テーブル WHERE
企業 I D=" & rs2("企業 ID") & ""
        Set rs4 = conn.Execute(SQL4)
        '金額を計算
        kinngaku = rs2("単価") * rs7("Amount")
        '小計を計算
        total = total + kinngaku
    %>
<TR bgcolor = "ffff99">
<TD colspan="4"><BR></TD>
<TH align="center" colspan="4">小計</TH>
<TD align="right" colspan="4">
<%= formatcurrency(total) %></TD></TR>
<TR><TD colspan="4"><BR></TD>
<TH align="center" colspan="4">消費税</TH>
<TD align="right" colspan="4">
<%= formatcurrency(tax) %></TD></TR>
<TR><TD colspan="4"><BR></TD>
<TH align="center" colspan="4">合計</TH>
<TH align="right" colspan="4">
<%= formatcurrency(total + tax) %></TH></TR>
</TABLE>
<P align="center">
<!-- テーブルの開始 -->
<TABLE cellpadding="1" cellspacing="2" bgcolor="#7ca0c0"
width="400">
<TR><TD height="3"></TD></TR>
<TR>
<TD align="center" colspan="4">
<FONT color = "white" size =
"4"><B>* ご注意 *</B></FONT></TD></TR>
<TR><TD align="center" colspan="4">
<FONT color = "red">
数量のところには数値以外は入力しないでください。<BR>
0 を入力すると削除されます。<BR>
数量を変更したら更新ボタンを押してください。</FONT>
</TD></TR></TABLE>
<!-- テーブルの終了 -->
<P><P>
<TABLE width = 80%>
<TR><TD align="center"><A href = "search.asp">まだまだ購入したい方はこちらか
ら</A></TD></TR>
<TR><TD align="center"><A href = "list.asp">前ページへ戻る</A></TD>
<%
    If Session("CustomerID") = "" Then
%>
<TR><TD align="center"><A href = "login.asp">注文する</A></TD></TR>
<%
    Else
%>

```



```

<TD><AHREF="orderstep2.asp">注文する</A></TD></TR>
<%
    End If
    rs4.Close
    Set rs4 = Nothing
    rs2.Close
    Set rs2 = Nothing
    rs3.Close
    Set rs3 = Nothing
    rs6.Close
    Set rs6 = Nothing
    rs7.Close
    Set rs7 = Nothing
End If
%>
</TABLE>
</BODY>
<%
    conn.Close
    Set conn = Nothing
%>

```

【数量の更新 (update.asp)】

```

<%@ language="VBScript"%>
<%
    Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
    conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
    Set Session("konta.mdb_conn") = conn

'個数に数値が入力されている時
If isNumeric(Request("Amount")) = true Then
    '負の数を入力したときの処理 (不正入力)
    If Request("Amount") < 0 Then
        Response.Redirect "ShoppingCart.asp"前のページを表示
    '0の時、削除と同じ処理を行う
    ElseIf Request("Amount") = 0 Then
        Session("商品 ID") = Request("商品 ID")
        Response.Redirect "del.asp"
    Else '正しい数値が入力された時の処理
        SQL = "UPDATE ShoppingCart テーブル Set Amount = "
        & Request("Amount") & " Where SessionID = " & Session.SessionID &
        " AND 商品 ID = " & Request("商品 ID") & ""
        Set rs = conn.Execute(SQL)
        Response.Redirect "ShoppingCart.asp"
    End If
Else '数値以外が入力された時の処理
    Response.Redirect "ShoppingCart.asp"
End If

rs.Close
Set rs = Nothing
conn.Close
Set conn = Nothing
%>

```

【買い物カゴからデータの削除(del.asp)】

```

<%@ language="VBScript"%>
<%
    Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
    conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
    Set Session("konta.mdb_conn") = conn

If Request("商品 ID") = "" Then '何もしない
Else
    Session("商品 ID") = Request("商品 ID")
End If

```

```

    SQL = "Delete From ShoppingCart テーブル Where SessionID = "
    & Session.SessionID & " AND 商品 ID = " & Session("商品 ID") & ""
    Set rs = conn.Execute(SQL)
    Session("商品 ID") = ""

    Response.Redirect "ShoppingCart.asp"
    conn.Close : Set conn = Nothing
%>

```

【ログイン (login.asp)】

```

<%@ language="VBScript"%>
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>オンラインショッピング</TITLE>
</HEAD>
<BODY background="back.jpg">
<%
    Session("CustomerID")=""
    Session("Password")=""
%>
<CENTER>
<FONT face="HGP 創英角ポップ体" size="6" color="black">ログイン</FONT>
<HR color="pink">
<P>
<FORM action="SearchCustomer.asp" method="POST">
<%= Session("ErrorString") %><BR>
<TABLE>
<tr><td align="right">顧客番号</td>
<td align="right"><INPUT type="text" name="CustomerID" size="30" value="
    <%= Session("CustomerID") %>"></td></tr>
<tr><td align="right">パスワード</td>
<td align="right"><INPUT type="password" name="Password" size="30" value="
    <%= Session("Password") %>"></td></tr></tr>
<tr><td align="center" colspan="2"><BR>
<INPUT type="submit" value="ログイン"><P>
</FORM>
<FORM action="sinki.asp">
<INPUT type="submit" value="初めての方はこちらから"></td>
</tr></FORM></TABLE><BR></CENTER>
<A HREF="top2.asp"><IMG src="contry02.gif" border="0">トップ
ページへ</A>
</BODY>
</HTML>

```

【顧客の一致確認 (SearchCustomer.asp)】

```

<%@ language="VBScript"%>
<%
    Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
    conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
    Set Session("konta.mdb_conn") = conn

'顧客番号を入力していない時
If Request("CustomerID") = "" Then
    Session("ErrorString") = "<Font color=""#ff0000"">顧客番号
    を入力してください。 </FONT><BR>"
    Response.Redirect "login.asp"
Else
    'CustomerID に数値が入力されているかどうか
    If isNumeric(Request("CustomerID")) = false Then
        Session("ErrorString") = "<Font color=""#ff0000"">顧客番号
        には半角の数字を入力してください。 </FONT><BR>"
        Response.Redirect "login.asp"
    Else
        'Password が入力されていない時

```

```

If Request("Password") = "" Then
  Session("ErrorString") = "<Font color = ""#ff0000">
パスワードを入力してください。 </FONT><BR>"
  Response.Redirect "login.asp"
Else
  Session("Password") = Request("Password")
  パスワードが正しいか調べる
  SQL = "SELECT * FROM 顧客マスター Where 顧客 ID = " & Request("CustomerID") & ""
  Set rs = conn.Execute(SQL,,adCmdText)
  顧客番号が間違えているときの処理
  If rs.EOF = True Then
    'Session 変数を空にする
    Session("Password") = ""
    Session("ErrorString") = "<FONT color =
""#ff0000">この顧客番号は登録されていません。 <BR>間違いないかお
確かめください。 </FONT><BR>"
    Response.Redirect "login.asp"
    パスワードが一致するか確認
  Else
    '一致しない時の処理
    If rs("パスワード") <> Request("Password") Then
      Session("Password") = ""
      Session("ErrorString") = "<FONT color =
""#ff0000">パスワードが正しくありません。 </FONT><BR>"
      Response.Redirect "login.asp"
      '一致した時の処理
    Else
      Session("ErrorString") = ""
      Session("CustomerID") = rs("顧客 ID")
      SQL2 = "Select * From ShoppingCart テーブ
ル Where SessionID = " & Session.SessionID
      Set rs2 = conn.Execute(SQL2)
      If rs2.EOF = true Then
        Response.Redirect "search.asp"
      Else
        Response.Redirect "orderstep2.asp"
      End If
    End If
  End If
End If
End If
End If
rs.Close
Set rs = Nothing
rs2.Close
Set rs2 = Nothing
conn.close
Set rs = Nothing
%>

```

【顧客情報確認 (orderstep2.asp)】

```

<%@ language="VBScript"%>
<%
Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
Set Session("konta.mdb_conn") = conn

If Session("CustomerID") <> "" Then
  SQL = "SELECT * FROM 顧客マスター Where 顧客 ID = "
& Session("CustomerID") & ""
  Set rs = conn.Execute(SQL)
  テーブルから顧客情報を取得
  If rs.EOF = False Then
    name = rs("顧客名")
    f_name = rs("フリガナ")
    y_number = rs("郵便番号")

```

```

address = rs("住所")
address2 = rs("ビル・マンション名")
tel = rs("電話番号")
tel2 = rs("携帯番号")
birth = rs("誕生日")
sex = rs("性別")
email = rs("メールアドレス")
End If
rs.Close
Set rs = Nothing
conn.Close
Set conn = Nothing
Else
  Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000">お手数で
すが、ログインしなおしてください。 </FONT><P>"
  Response.Redirect "login.asp"
End If
%>

<HTML>
<HEAD>
<TITLE>オンラインショップ</TITLE>
</HEAD>
<BODY background="back.jpg">
<CENTER>
<FONT face = "創英角ポップ体" size = "6" color = "black">お届け先、ご
連絡先を確認してください。 </FONT>
</CENTER>
<HR color = "pink">
<FORM action = "orderstep3.asp" method = "POST">
<TABLE><TR><TD><BR></TD>
<← エラーメッセージを表示 →>
<TD><Font size = "4"><%= Session("ErrorString")%>
</FONT></TD></TR>
<TR><TD align = "right">お名前 : </TD>
<TD><INPUT type = "text" name = "name" size = "30" value = "<%=
name %>">
<TR><TD align = "right">フリガナ : </TD>
<TD><INPUT type = "text" name = "f_name" size = "30" value = "<%=
f_name %>">
<TR><TD align = "right">郵便番号 : </TD>
<TD><INPUT type = "text" name = "y_number" size = "30" value =
"<%= y_number %>">
<TR><TD align = "right">住所 : </TD>
<TD><INPUT type = "text" name = "address" size = "50" value = "<%=
address %>">
<TR><TD align = "right">ビル・マンション名 : </TD>
<TD><INPUT type = "text" name = "address2" size = "50" value =
"<%= address2 %>">
<TR><TD></TD></TR>
<TR><TD align = "right">電話番号 : </TD>
<TD><INPUT type = "text" name = "tel" size = "30" value = "<%=
tel %>">
<TR><TD align = "right">携帯番号 : </TD>
<TD><INPUT type = "text" name = "tel2" size = "30" value = "<%=
tel2 %>">
<TR><TD align = "right">メールアドレス : </TD>
<TD><INPUT type = "text" name = "email" size = "30" value = "<%=
email %>"></TD></TR>
<TR><TD align = "right">お支払い方法 : </TD>
<TD>勝手ながら、お支払い方法は代引とさせていただきます。
</TD></TR>
<TR><TD></TD></TR>
<TR><TD align = "right">お支払い方法 : </TD>
<TD><FONT color = ""#ff0000" size = 4>間違えないか、よく確認された
上で『次へ』ボタンを押してください
</FONT></TD></TR><TR><TD></TD>
<P>

```

```

<TD align = "center" colspan = "2"><INPUT type = "reset" value = "リ
セット">
<INPUT type = "submit" value = "次へ"></TD></TR>
</TABLE></FORM>
</BODY>
</HTML>

```

【注文情報最終確認 (orderstep3.asp)】

```

<%@ language="VBScript"%>
<%
Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
Set Session("konta.mdb_conn") = conn

'入力された情報を Session 変数に代入する
Session("name") = Request("name")
Session("f_name") = Request("f_name")
Session("y_number") = Request("y_number")
Session("address") = Request("address")
If Request("address2") = "" Then
    Session("address2") = "-"
Else
    Session("address2") = Request("address2")
End If
Session("tel") = Request("tel")
If Request("tel2") = "" Then
    Session("tel2") = "-"
Else
    Session("tel2") = Request("tel2")
End If
Session("email") = Request("email")
Session("Password") = Request("Password")
Session("PasswordConf") = Request("PasswordConf")
'入力漏れがないかチェックする
If Request("name") = "" Then
    Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">お名前を
入力してください。 <BR></FONT>"
    Response.Redirect "orderstep2.asp"
End If

If Request("f_name") = "" Then
    Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">フリガナ
を入力してください。 <BR></FONT>"
    Response.Redirect "orderstep2.asp"
End If

If Request("y_number") = "" Then
    Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">郵便番号
を入力してください。 <BR></FONT>"
    Response.Redirect "orderstep2.asp"
End If

If Request("address") = "" Then
    Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">住所を入
力してください。 <BR></FONT>"
    Response.Redirect "orderstep2.asp"
End If

If Request("tel") = "" Then
    If Request("tel2") = "" Then
        Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">電話
番号が携帯番号を入力してください。 <BR></FONT>"
        Response.Redirect "orderstep2.asp"
    End If
End If
%>
</HTML>

```

```

<HEAD>
<TITLE>オンラインショップ</TITLE>
</HEAD>
<BODY background = "back.jpg">
<CENTER>
<FONT face = "HGP 創英角ポップ体" size = "6" color = "#ff9900">ご注文
の最終確認</FONT>
</CENTER>
<HR color = "pink">
<P>
<CENTER>お客様の情報<P>
<TABLE bgcolor = "#ffffff" rules = "none" cellpadding = "10" align =
"center">
<TR><TD align = "right">お名前： </TD><TD><%=
Session("name") %></TD></TR>
<TR><TD align = "right">郵便番号： </TD><TD><%=
Session("y_number") %></TD></TR>
<TR><TD align = "right">住所： </TD>
<%
    If Request("address2") = " - " Then
        address2 = ""
    Else
        address2 = Request("address2")
    End If
%>
<TD><%= Request("address") & address2 %></TD></TR>
<TR><TD align = "right">電話番号： </TD><TD><%=
Session("tel") %></TD></TR>
<TR><TD align = "right">携帯番号： </TD><TD><%=
Session("tel2") %></TD></TR>
<TR><TD align = "right">メールアドレス： </TD><TD><%=
Session("email") %></TD></TR>
</TABLE>
<%
'買い物カゴの中身を表示する
SQL = "SELECT 商品 ID, Amount From ShoppingCart テーブル
Where SessionID = " & Session.SessionID
Set rs = conn.Execute(SQL)

If rs.EOF = false Then '購入商品があるときの処理
%>
<P><BR>購入商品一覧<BR>
<TABLE cellspacing = "3" cellpadding = "5"><TR bgcolor =
"ffccff">
<TH width = 200>商品名</TH>
<TH width = 80>単価</TH>
<TH width = 80>数量</TH>
<TH width = 80>金額</TH>
<%
Else '購入商品がない時の処理
Response.Write "<BR><BR>現在、ご購入いただいております
商品はございません。 "
End If

total = 0
totalamount = 0

Do while rs.EOF = false
SQL2 = "SELECT 商品名,単価 FROM 商品マスター WHERE
商品 ID = " & rs("商品 ID") & ""
Set rs2 = conn.Execute(SQL2)

kinngaku = rs("Amount") * rs2("単価")
Session("kinngaku") = kinngaku
%>

<TR><TD bgcolor = "#ffffff"><%= rs2("商品名") %></TD>

```

```

        <TD align = "right" bgcolor = "fffff"><%=
formatcurrency(rs2("単価")) %></TD>
        <TD align = "right" bgcolor = "fffff"><%=
rs("Amount") %></TD>
        <TD align = "right" bgcolor = "fffff">
        <%= formatcurrency(kinngaku) %></TD></TR>
<%
    '合計金額を計算
    total = total + kinngaku
    totalamount = totalamount + rs("Amount")
    rs.movenext
    Loop
    '消費税を計算
    tax = int(total * 0.05)
    Session("tax") = tax
%>
<TR><TD><BR></TD><TD><BR></TD><TH bgcolor = "#ffff0">小
計</TH>
<TD align = "right" bgcolor = "fffff"><%=
formatcurrency(total) %></TD></TR>
<TR><TD><BR></TD><TD><BR></TD><TH bgcolor = "#ffff0">消
費税</TH>
<TD align = "right" bgcolor = "fffff">
<%= formatcurrency(tax) %></TD></TR>
<TR><TD><BR></TD><TD><BR></TD><TH bgcolor = "#ffff0">合
計</TH>
<TD align = "right" bgcolor = "fffff">
<%= formatcurrency(total + tax) %></TD></TR>
<TR><TD colspan = 4><BR>お支払い方法 : 代引き (商品が到達したと
きにお支払いください。) </TR>
</TABLE><BR>
<TABLE cellspacing = 20>
<TR><TD>この商品を発注します。 <BR></TD></TR>
<FORM action = "search.asp" method = "POST"><TD align =
"center">
<TR>
<TD>まだ購入したい方は,
<INPUT type = "submit" value = "ショッピングを続ける"> を押ししてくだ
さい。
</TD></TR></FORM>
<TR><FORM action = "orderfix.asp" method = "POST">
<TD>購入を終了する方は<INPUT type = "submit" value = "注 文">
を押ししてください。 </TD></TR></FORM>
</TABLE>
<%
    Session("total") = total
    rs.Close
    Set rs = Nothing
    conn.Close
    Set conn = Nothing
%>
</CENTER>
<A HREF = "top2.asp"><IMG src="contry02.gif" border = "0">トップ
ページへ</A>
</BODY>
</HTML>

```

【売上テーブルヘデータの格納 (orderfix.asp)

```

<%@ TRANSACTION = Required %>
<%
    'ページ全体で1つのトランザクションという意味
    Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
    conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
    Set Session("konta.mdb_conn") = conn

    '商品を購入しているかどうか?
    SQL = "SELECT COUNT(*) FROM ShoppingCart テーブル

```

```

WHERE SessionID = " & Session.SessionID
Set rs = conn.Execute(SQL,,adcmdtext)

If rs.EOF = True Then
    'ShoppingCart に SessionID がないときの処理
    'トランザクションを中止
   ObjectContext.SetAbort
Else 'ShoppingCart にデータがないときの処理
    If rs(0) = 0 Then
        'トランザクションを中止
       ObjectContext.SetAbort
    End If
End If
Response.Write "<注文" & "<BR>"
rs.Close
Set rs = Nothing

CustomerID = Session("CustomerID")

'orderId を得る
SQL = "SELECT max(受注伝票 ID) as max_o FROM 受注伝票テ
ーブル"
Set rs = conn.Execute(SQL)

SQL2 = "SELECT * FROM ShoppingCart テーブル WHERE
SessionID = " & Session.SessionID
Set rs2 = conn.Execute(SQL2)

If rs2("SessionID") = Session.SessionID Then
    Session("orderId") = rs("max_o")
Else
    If isNull(rs("max_o")) = true Then 'テーブルが空の時の処理
        orderId = 1
    Else
        orderId = rs("max_o") + 1
    End If
    Session("orderId") = orderId
End If

While Not rs2.EOF
    SQL6 = "SELECT * FROM 商品マスター WHERE 商品 ID
= " & rs2("商品 ID") & ""
    Set rs3 = conn.Execute(SQL6)

    kinngaku = rs3("単価") * rs2("Amount")
    '売上テーブルに追加
    SQL5 = "INSERT INTO 売上テーブル VALUES(" & rs2("商
品 ID") & ",#" & date & "#," & rs2("Amount") & "," & kinngaku & "," &
Session("CustomerID") & ")"
    conn.Execute(SQL5)

    '受注伝票テーブルに追加
    SQL = "INSERT INTO 受注伝票テーブル(受注伝票ID,顧客ID,
受注日,仕入先企業ID,発送方法ID,運送ID,小計,消費税,合計)"
    SQL = SQL & " Values(" & Session("orderId") & "," &
CustomerID & ",#" & date & "#,1,1,1," & Session("kinngaku") & "," &
Session("tax") & "," & Session("kinngaku") + Session("tax") & ")"
    conn.Execute(SQL)

    '受注明細テーブルに追加
    SQL3 = "INSERT INTO 受注明細テーブル values("
    SQL3 = SQL3 & orderId & ",01," & rs2("商品 ID") & "," &
rs2("Amount") & "," & rs3("単価") & ",#" & date + 7 & "#," & orderId &
")"

    Set rs3 = conn.Execute(SQL3)

    'OR 在庫テーブルに追加

```



```

SQL4 = "UPDATE OR 在庫テーブル SET 予約数=" &
rs2("Amount") & " Where 商品ID=" & rs2("商品ID") & ""
Set rs4 = conn.Execute(SQL4)

rs2.movenext
Wend
rs.Close
Set rs = Nothing

'トランザクションの成功を通知、OnTransactionCommit イベント
を呼び出す
ObjectContext.SetComplete

'トランザクション完了時に発生
Sub OnTransactionCommit
    Response.Redirect "orderfin.asp"
End Sub

'トランザクション中止時に発生
Sub OnTransactionAbort
%>
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>オンラインショップ</TITLE>
</HEAD>
<BODY background="kabe_snow6.gif">
<CENTER>
<FONT face="HGP 創英角ポップ体" size=7 color="#ff9900">エラー
</FONT>
<HR color="green">
<FONT size=5>システムエラーが発生しました。<BR>
お手数ですが、再度操作をお願いします。</FONT>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>
%>
End Sub
%>

```

【受注終了 (orderfin.asp)】

```

<%@ language="VBScript" %>
<%
Set conn=Server.createObject("ADODB.Connection")
conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
Set Session("konta.mdb_conn") = conn

kingaku = Session("total") + Session("tax")
%>
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>オンラインショップ</TITLE>
</HEAD>
<BODY background="back.jpg">
<%= SQL2 %>
<P>
<CENTER>
<FONT face="HGP 創英角ポップ体" size="6" color="#ff9900">ご注文
ありがとうございます</FONT>
<HR color="green">
<TABLE border=2 bgcolor="#ffffff">
<TR><TD colspan=2 align="center"><FONT size=5>注文内容
</FONT></TD></TR>
<%
受注伝票テーブルから受注伝票ID,顧客IDを取得
SQL = "SELECT max(受注伝票ID) as max_o FROM 受注伝票テ
ーブル"
Set rs3 = conn.Execute(SQL)

```

```

SQL = "SELECT * FROM 受注伝票テーブル WHERE 受注伝票
ID=" & rs3("max_o")
Set rs = conn.Execute(SQL)

'顧客マスターから顧客名を取得
SQL2 = "SELECT * FROM 顧客マスター WHERE 顧客ID=" &
rs("顧客ID") & ""
Set rs2 = conn.Execute(SQL2)
%>
<TR><TH align="right" width=100>注文番号</TH><TD><%=
rs3("max_o") %></TD></TR>
<TR><TH align="right">顧客番号</TH><TD><%= rs("顧客
ID") %></TD></TR>
<TR><TH align="right">お名前</TH><TD><%= rs2("顧客名
") %></TD></TR>
<TR><TH align="right">お届け先住所</TH>
<%
If rs2("ビル・マンション名") = " - " Then
%>
<TD><%= rs2("郵便番号") %><BR><%= rs2("住所
") %></TD></TR>
<%
Else
%>
<TD><%= rs2("郵便番号") %><BR><%= rs2("住所") & rs2("
ビル・マンション名") %></TD></TR>
<%
End If
%>
<TR><TH align="right" valign="top">注文内容</TH>
<TD><TABLE cellpadding=3><TR bgcolor="#ffccff">
<TH width=370>商品名</TH><TH width=50>数量</TH><TH
width=70>単価</TH></TR>
<%
'買い物カゴの中身を表示する
SQL6 = "Select * From ShoppingCart テーブル WHERE
SessionID=" & Session.SessionID
Set rs6 = conn.Execute(SQL6)

total = 0 '小計を計算するための変数
totalamount = 0 '合計個数を計算するための変数

While Not rs6.EOF
SQL2 = "SELECT * FROM 商品マスター WHERE 商品ID
=" & rs6("商品ID") & ""
Set rs2 = conn.Execute(SQL2)

'金額を計算
kingaku = rs6("Amount") * rs2("単価")
Session("kingaku") = kingaku
'小計を計算
total = total + kingaku
%>
<TR bgcolor="ffffff">
<TD><%= rs2("商品名") %></TD>
<TD align="right" bgcolor="ffffff"><%=
rs6("Amount") %></TD>
<TD align="right" bgcolor="ffffff"><%=
formatcurrency(rs2("単価")) %></TD>
<%
SQL4 = "SELECT * FROM 商品マスター WHERE 商品ID
=" & rs6("商品ID") & ""
Set rs4 = conn.Execute(SQL4)
SQL5 = "SELECT * FROM 受注伝票テーブル WHERE 受注
伝票ID=" & rs("受注伝票ID")
Set rs5 = conn.Execute(SQL5)

```

```

rs6.movenext
Wend
tax = total * 0.05
goukei = total + tax
%>
<TR><TH align = "center" bgcolor = "#ffccff">小計
</TH><TD></TD><TD align = "right">
<%= formatcurrency(total)%></TD></TR>
<TR><TH align = "center" bgcolor = "#ffccff">税
</TH><TD></TD><TD align = "right">
<%= formatcurrency(tax)%></TD></TR>
<TR><TH align = "center" bgcolor = "#ffccff">合計
</TH><TD></TD><TD align = "right">
<%= formatcurrency(goukei)%></TD>
</TABLE></TD></TR>
<TR><TH align = "right">お支払い方法</TH><TD>代引き : 商品受け取り
時にお支払いください。 </TD></TR><BR>
</TABLE><BR>
<TABLE bgcolor = "#ffffff" frame = "box">
<TR><TD align = "center"><FONT color = "#ff0000" size = 4>注意
</FONT></TD></TR>
<TR><TD>
このページを印刷し、商品受け取り時まで大切に保管しておいてください。
<BR>
顧客番号、パスワードは忘れないようにしてください。 <BR>
お届けには 2 ~ 3 週間ほどかかります。 <BR>
</TD></TR></TABLE>
%>

```

ShoppingCart テーブルの内容を削除

```

SQL = "DELETE FROM ShoppingCart テーブル WHERE
SessionID = " & Session.SessionID
conn.Execute(SQL)

```

```

%>
<P>
<IMG src = "ecne006.gif">
</CENTER>
<BR><A HREF = "logout2.asp"><IMG src="contry02.gif" border =
"0">トップページへ</A>
</BODY>
</HTML>

```

【顧客情報をデータベースへ登録(insert_cst.asp)】

```

<%@ language="VBScript" %>
%>
Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
Set Session("konta.mdb_conn") = conn

If Request("name") = "" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">お名前を
入力してください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
End If
Session("name") = Request("name")

If Request("f_name") = "" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">フリガナ
を入力してください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
End If
Session("f_name") = Request("f_name")

If Request("y_number") = "" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">郵便番号
を入力してください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
End If

```

```

Session("y_number") = Request("y_number")

If Request("add1") = "0" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">都道府県
を選択してください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
End If
Session("add1") = Request("add1")

If Request("address") = "" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">住所を入
力してください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
End If
Session("address") = Request("address")
Session("address2") = Request("address2")

If Request("tel") = "" Then
If Request("tel2") = "" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">電話
番号か携帯番号を入力してください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
Else
tel2 = Request("tel2")
End If
End If
tel = Request("tel")
Session("tel") = Request("tel")
Session("tel2") = Request("tel2")

If Request.Form("sex") = "" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">性別を選
択してください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
End If
Session("sex") = Request("sex")

If Request("year") = "0" OR Request("month") = "0" OR
Request("day") = "0" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">誕生日を
選択してください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
End If
Session("year") = Request("year")
Session("month") = Request("month")
Session("day") = Request("day")

If Request("mail") = "" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">メールア
ドレスを入力してください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
End If
Session("mail") = Request("mail")

If Request("Password") = "" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">パスワ
ードを入力してください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
End If
Session("Password") = Request("Password")

If Request("PasswordConf") = "" Then
Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">パスワ
ードを入力しなおしてください。 <BR></FONT>"
Response.Redirect "sinki.asp"
End If
Session("PasswordConf") = Request("PasswordConf")

```

```

パスワードが一致するか確認する
If Session("Password") <> Session("PasswordConf") Then
    Session("ErrorString") = "<FONT color = ""#ff0000"">パスワードが一致していません。 <BR>入力しなおしてください。 </FONT>"
    Response.Redirect "sinki.asp"
End If

住所を1つにする
SQL = "SELECT * FROM 発送テーブル Where 発送ID = " &
Session("add1")
Set rs = conn.Execute(SQL)

Session("fulladd1") = rs("地域名") & Session("address")
生年月日を1つにする
Session("birth") = Session("year") & "/" & Session("month") & "/" &
Session("day")
登録処理
SQL = "SELECT max(顧客 ID) as max_c FROM 顧客マスター "
Set rs = conn.Execute(SQL)

ID = rs("max_c") + 1
SQL2 = "INSERT INTO 顧客マスター(顧客 ID,顧客名,フリガナ,郵便番号,住所,ビル・マンション名,電話番号,携帯番号,誕生日,性別,メールアドレス,パスワード)"
SQL2 = SQL2 & " VALUES('" & ID & "','" & Session("name") & "','" &
Session("f_name") & "','" & Session("y_number") & "','" &
Session("fulladd1") & "','"
If Session("address2") = "" Then
    SQL2 = SQL2 & "','"
Else
    SQL2 = SQL2 & "','" & Session("address2") & "','"
End If

If tel = "" Then
    If tel2 <> "" Then
        SQL2 = SQL2 & "','" & tel2 & "','"
    End If
Else
    If tel2 = "" Then
        SQL2 = SQL2 & "','" & tel & "','"
    End If
End If
SQL2 = SQL2 & "','" & Session("birth") & "','" & Session("sex") &
"',"' & Session("mail") & "','" & Request("Password") & "','"
Set rs2 = conn.Execute(SQL2,adcmdtext)

Response.Redirect "tourokukanryou.asp"

rs.Close
Set rs = Nothing
rs2.Close
Set rs2 = Nothing
conn.Close
Set conn = Nothing
%>

【新規顧客登録完了 ( touryokukanryou.asp )】
<%@ language="VBScript"%>
<%
Set conn=Server.createobject("ADODB.Connection")
conn.Open "konta.mdb" 'データベースをオープン
Set Session("konta.mdb_conn") = conn

SQL = "SELECT max(顧客 ID) as max_c FROM 顧客マスター"
Set rs = conn.Execute(SQL)
%>

```

```

</HTML>
</HEAD>
<TITLE>オンラインショッピング</TITLE>
</HEAD>
<BODY background="back.jpg">
<CENTER>
<FONT size = 6 color = 'black'>登録完了</FONT>
<HR color = 'yellow'><P>
<TABLE bgcolor = "#ffffff" rules = "none" cellpadding = "10">
<TR><TD align = "right">お客様番号: </TD><TD><%=
rs("max_c") %></TD>
<TR><TD align = "right">お名前: </TD><TD>
<%= Session("name") %></TD></TR>
<TR><TD align = "right">郵便番号: </TD><TD>
<%= Session("y_number") %></TD></TR>
<TR><TD align = "right">住所: </TD>
<%
If Session("address2") = " - " Then
    address2 = ""
Else
    address2 = Session("address2")
End If
%>
<TD><%= Session("fulladd1") & address2 %></TD></TR>
<TR><TD align = "right">電話番号: </TD><TD><%=
Session("tel") %></TD></TR>
<TR><TD align = "right">携帯番号: </TD><TD>
<%= Session("tel2") %></TD></TR>
<TR><TD align = "right">メールアドレス: </TD><TD>
<%= Session("mail") %></TD></TR>
</TABLE><P>
<← テーブルの開始 →>
<TABLE cellpadding="1" cellspacing="2" bgcolor="#7ca0c0"
width="400"><TR>
<TD height="3"></TD></TR><TR>
<TD bgcolor="#a3bcd3" height="3"><FONT color = "white"><B>* 注
意 *-</B></FONT></TD></TR>
<TR><TD bgcolor="#c2d3e2" height="3"></TD></TR>
<TR><TD bgcolor="#ffffff" align="left">
お客様番号とパスワードは控えておいてください。 <BR>
</TD></TR></TABLE>
<← テーブルの終了 →>
<BR><A HREF = "update_cst.asp">訂正したい方はこちらから
</A></FONT>
<TR><FORM action = "top.asp" method = "POST"><TD align =
"center">
<INPUT type = "submit" value = "ショッピングを続ける
"></TD></FORM></TR>
</TABLE>
</CENTER>
<%
rs.Close
Set rs = Nothing
conn.Close
Set conn = Nothing
%>
<BR><A HREF = "top2.asp"><IMG src="contry02.gif" border = "0">
トップページへ</A>
</BODY></HTML>

【ログアウト ( logout.asp )】
<%@ language="VBScript"%>
<%
セッションオブジェクトの破棄
Session.Abandon
Response.Redirect "top2.asp"
%>

```